

☆☆

第 45 回数理社会学会大会プログラム

日時：2008 年 3 月 16 日(日)～3 月 17 日(月)

会場：成蹊大学

大会委員長：小林 盾（成蹊大学）

☆☆

大会参加費は以下のとおりです。

参加費：	一般（会員）	2,500 円	学生・院生（会員）	2,000 円
	一般（非会員）	3,000 円	学生・院生（非会員）	2,500 円
懇親会費：	一般	5,500 円	学生・院生	4,500 円

なお、不明な点については下記へお問い合わせください。

大会事務局：連絡先 小林 盾（大会委員長） 成蹊大学文学部現代社会学科

住所：〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

Tel：0422-37-3663(小林研究室) 0422-37-3972（社会調査士課程室）

e-mail:jun.kobayashi@fh.seikei.ac.jp

【3 月 15 日（土）】

14：00 ～ 16：00 編集委員会（10 号館 2 階第 1 中会議室）

16：30 ～ 19：00 理事会（10 号館 2 階第 1 中会議室）

Tel: 0422-37-3663 0422-37-3972 e-mail:jun.kobayashi@fh.seikei.ac.jp

【3 月 16 日（日）】

9：00 開場・受付開始

9：25 開会 大会委員長 小林 盾（成蹊大学） 4 号館ホール

I. 午前の部（9：30-12：10）

【第 1 部会】 一般的信頼の数理と実証（9：30-10：30） 4 号館ホール

司会：与謝野 有紀（関西大学）

1. コミットメント関係と信頼生成のメカニズム

○朝岡 誠（東北大学）

金澤 悠介（東北大学）

20+10=30 分

2. 友人関係の推移性と一般的信頼

トライアド法を用いた中学生データの分析

○辻 竜平（明治学院大学）

磯部 梓（明治学院大学）

20+10=30 分

*****コーヒースレイク*****

【第2部会】 社会的ネットワークと地域活動（10：40-12：10）

4号館ホール

司会：与謝野 有紀（関西大学）

1. 社会的ネットワークと信頼—3つの仮説の経験的検討—

金澤 悠介（東北大学）

20+10=30 分

2. 経営におけるネットワーク資源の効果の比較

金井 雅之（山形大学）

20+10=30 分

3. 地域異質性・規模・人的資本の地域公共活動と経営状態への関係性について：

温泉地の調査データをもちいて

藤山 英樹（獨協大学）

20+10=30 分

***** 12：10-13：00 昼食 *****

Ⅱ. 午後の部（13：00-16：40）

【第3部会（ポスター）】 萌芽的セッション（13：00-13：30）

4号館ホール・ロビー

1. 階層的地位と配偶者選択

三輪 哲（東京大学）

2. 群衆退出の計量分析—避難効率改善の数理的アプローチを目指して—

○ 大塚 一路（東京大学）

西成 活裕（東京大学）

【第 4-1 部会】 認識、対象、行為者の関係性の数理 (13 : 30-15 : 00)

4 号館ホール

司会 : 友知 政樹 (沖縄国際大学)

1. カテゴリー・ネット技法による社会問題の多面的認識の抽出

○山崎 哲史 (首都大学東京)

高橋 和宏 (首都大学東京)

鈴木 努 (首都大学東京)

小林 幹生 (首都大学東京)

20+10=30 分

2. 中心性測定に依拠したブランド・ポートフォリオ・ネットワーク・モデルの提案

金光 淳 (情報通信技術機構、京都産業大学)

20+10=30 分

3. 返金特約付予約券によるネットワーク外部性がある財の販売実験

○七條 達弘 (大阪府立大学)

赤井 研樹 (日本学術振興会)

草川 孝夫 (広島修道大学)

西條 辰義 (大阪大学、UCLA)

20+10=30 分

【第 4-2 部会】 社会過程と社会構造の数理 (13 : 30-15 : 00)

5 号館 101 教室

司会 : 志田 基与師 (横浜国立大学)

1. Why Do Bicameral Chambers Usually, but Not Always, Agree? An Incomplete Information Game Model

福元 健太郎 (学習院大学)

20+10=30 分

2. 空間構造と集団サイズ : 中心部と周辺部の比較

○堀内 史朗 (岡山理科大学)

高崎 皓幸 (岡山理科大学)

20+10=30 分

3. 物理作用と記号論理による社会モデル

香村 由紀

20+10=30 分

*****コーヒースタンド*****

【第5部会】 マクロ社会の構造と公共性 (15 : 10-16 : 40)

4号館ホール

司会：数土 直紀 (学習院大学)

1. Social Mobility in Japan: A New Approach to Modeling Trend in Mobility

David B. Grusky (Stanford University)

○Yoshimichi Sato (Tohoku University)

Jan O. Jonsson (Stockholm University)

Satoshi Miwa (The University of Tokyo)

Matthew Di Carlo (Cornell University)

Reinhard Pollak (Social Science Research Center, Berlin)

Mary C. Brinton (Harvard University)

20+10=30分

2. 富・情報の複合循環社会のマクロ数理モデル

河村 廣 (神戸大学・名誉教授)

20+10=30分

3. 公正な分配ルールの理論へ向けて

盛山 和夫 (東京大学)

20+10=30分

【総会】 16 : 40-17 : 40

4号館ホール

【懇親会】 18 : 00

10号館 12階ホール

【3月17日(月)】

9:00 開場

Ⅲ. 午前の部 (9 : 30-12 : 10)

【第6部会】 (9 : 30-10 : 30) アスピレーションの規定因

4号館ホール

司会：保田 時男 (大阪商業大学)

1. 現代高校生とその母親の教育アスピレーション

Interdependence Model を用いた親子同時分析

藤原 翔 (大阪大学)

20+10=30分

2. 職業威信構造の認知と達成的地位志向

—達成的地位志向に影響を及ぼす新変数の発見—

塩谷 芳也 (東北大学)

20+10=30分

*****コーヒースタイル*****

【第7部会】(10:40-12:10) 階層の再生産と格差の拡大

4号館ホール

司会：保田 時男（大阪商業大学）

1. 世代間移動への生存分析アプローチ

石田 浩（東京大学）

20+10=30分

2. 格差拡大の中身：人口構造効果と年齢層内効果

○白波瀬 佐和子（東京大学）

竹内 俊子（学習院大学）

20+10=30分

3. 「失われた世代」はどの程度失われているか？非正規雇用率のコーホート分析

太郎丸 博（大阪大学）

20+10=30分

***** 12:10-13:00 昼食 *****

IV. 午後の部 (13:00-14:40)

【第8部会】パネルディスカッション (13:00-14:40)

4号館ホール

基調報告 (13:00-13:30)

「コールマン社会理論の新しい基礎を再構築する—数理社会学と規範理論の対話に向けて」

瀧川 裕貴（総合研究大学院大学）

討議 (13:30-14:40)

パネラー 盛山 和夫（東京大学）

久慈 利武（東北学院大学）

司会：佐藤 嘉倫（東北大学）

14:40 閉会

大会委員長 小林 盾（成蹊大学）

4号館ホール

(備考)

1. ○印は発表者（登壇者）を示します.
2. 報告者名の後に発表・討論時間を示しています. たとえば「20+10=30 分」は, 発表 20 分, 討論 10 分で合計 30 分であることをあらわします.
3. 「抜き刷り交換コーナー」を設けます. これまでに書かれた論文・報告書・マニュアル等で配布できるものがあればお寄せください. 印刷物だけでなく, 自作のコンピュータ・ソフトウェアなどもどうぞ. 事前にお送りいただいても結構です. 「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局（小林研究室）宛にお送り下さい.